

茨城県における院内保育・病児保育施設一覧

資料 1

【研修指定病院における状況】

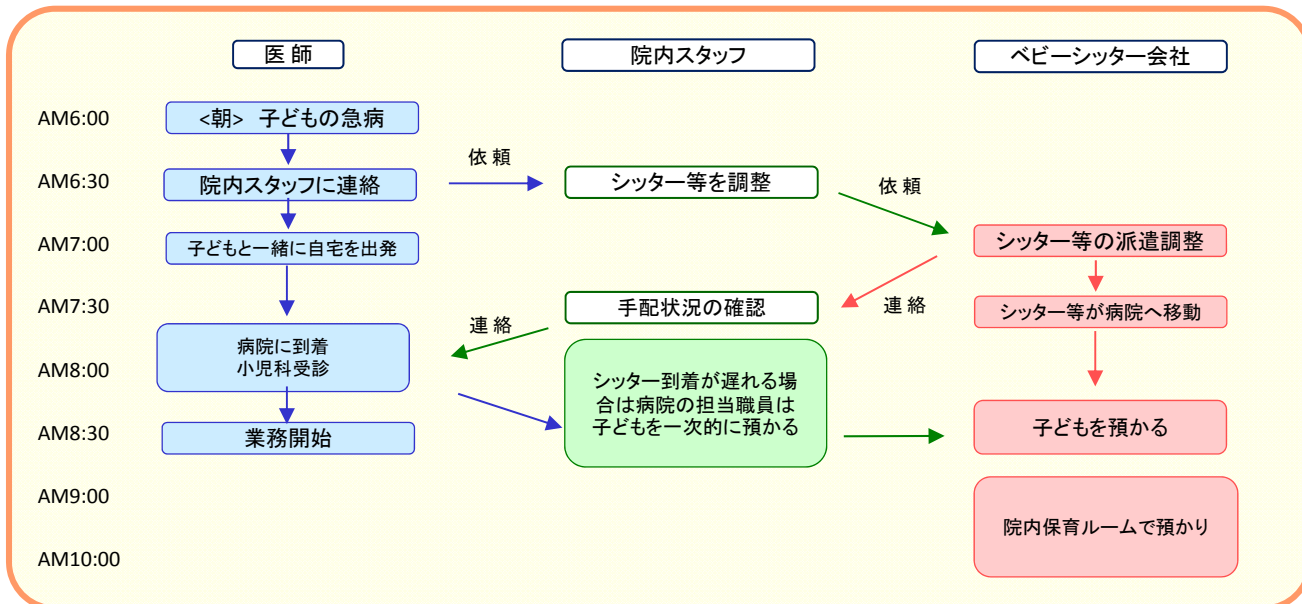
研修指定病院数	20		
	あり	なし	% (あり)
院内保育	20	0	100.0%
病児保育	11	9	55.0%
病後児保育	8	12	40.0%

(平成30年度実績)

No	施設名	種別 (研修病院かその他施設)	院内保育				病児保育				病後児保育		
			院内保育 (有/無)	定員	入園待ち (有/無)	医師の利用 (可/不可)	病児保育 (有/無)	予約 (必要/不要)	定員	年間利用 人数	医師の利用 (可/不可)	病後児保育 (有/無)	医師の利用 (可/不可)
1	株式会社日立製作所 日立総合病院	臨床研修病院	有	100	無	可	有	必要	3	129	可	有	可
2	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	臨床研修病院	有	30	有	可	有	必要	2	60	可	有	可
3	茨城西南医療センター病院	臨床研修病院	有	30	無	可	有	必要	1	0	可	無	-
4	総合病院 土浦協同病院	臨床研修病院	有	200	無	可	無	-	-	-	-	無	-
5	独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター	臨床研修病院	有	35	無	可	有	不要	1	3	可	有	可
6	筑波記念病院	臨床研修病院	有	80	無	可	無	-	-	-	-	無	-
7	筑波大学附属病院	臨床研修病院	有	-	-	-	有	必要	4	339	可	有	可
8	筑波メディカルセンター病院	臨床研修病院	有	人数設定無	無	可	有	必要	4	312	可	有	可
9	筑波学園病院	臨床研修病院	有	人数設定無	無	可	有	不要	人数設定無	13	可	有	可
10	東京医科大学茨城医療センター	臨床研修病院	有	51	無	可	無	-	-	-	-	無	-
11	つくばセントラル病院	臨床研修病院	有	80	無	可	有	不要	2	10	可	有	可
12	JAとりで総合医療センター	臨床研修病院	有	46	無	可	無	-	-	-	-	無	-
13	総合守谷第一病院	臨床研修病院	有	66	無	可	有	必要	3	45	可	有	可
14	牛久愛和総合病院	臨床研修病院	有	人数設定無	無	可	無	-	-	-	-	無	-
15	総合病院水戸協同病院	臨床研修病院	有	28	無	可	有	不要	1	28	可	無	-
16	水戸赤十字病院	臨床研修病院	有	40	無	可	無	-	-	-	-	無	-
17	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	臨床研修病院	有	25	無	可	無	-	-	-	-	無	-
18	友愛記念病院	臨床研修病院	有	20	無	可	無	-	-	-	-	無	-
19	茨城県立中央病院	臨床研修病院	有	110	無	可	無	-	-	-	-	無	-
20	水戸済生会総合病院	臨床研修病院	有	40	要相談	可	有	必要	3	不明	可	無	-

民間ベビーシッターとの連携支援

茨城西南医療センター病院 平成30年9月より実施
 とよさと病院 平成30年10月より実施
 霞ヶ浦医療センター 平成31年1月より実施



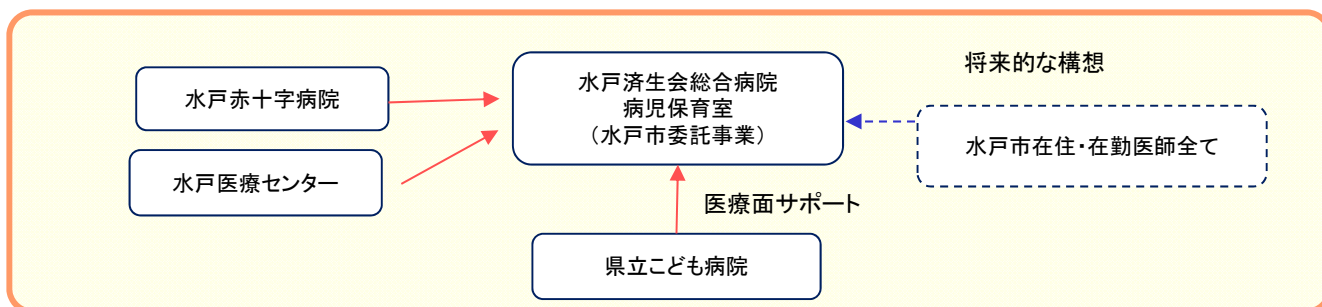
県央地域 病院間連携構支援(案) (5月末以降運用開始予定)

平成31年度、水戸済生会総合病院が水戸市より病児保育事業を受託し運営する。済生会が保育を担当、隣接する県立こども病院が小児医療を支援する。

臨床研修病院で病児保育が未設置の水戸赤十字病院と水戸医療センターに勤務する医師(水戸市の事業のため当面は水戸市在住に限る)の子どもを病院間が連携し預かる方向で動いている。

本来市民を対象とした事業であるが、将来的には、行政、病院スタッフ、医師会等協力しながら、医療従事者の就労支援も兼ねた取り組みを目指したい。

5月末よりパイロットスタディを開始する予定。



県の補助金について 平成30年度～

各医療機関の実情に応じた病児保育体制の構築に必要な経費を補助します。

- 補助対象
 - 事業所の所在地が県内にある病院
- 対象経費
 - ・ 初期経費：病児一時預かりのためのスペース改装費、備品購入費（上限 1,500,000円）
 - ・ 利用料：病児保育料、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター等の利用料の病院負担分（上限 500,000円）
- 補助率 1/2



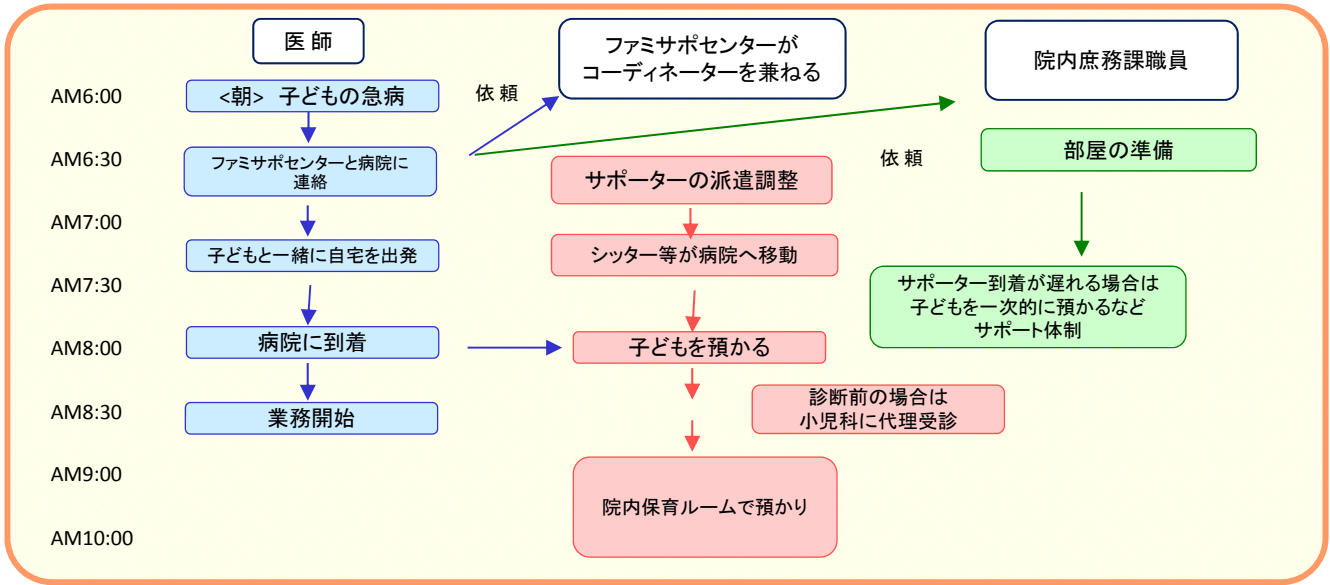
地域の子育て資源を活用した育児支援の取組みについて

茨城県では、子育て中の医師が、子どもの急な発熱等によって、自分が担当する診療業務などが急ぎょできなくなってしまうような事態を心配することなく、安心して勤務できる体制を整備します。

医師が必要としている支援の聞き取り，院内支援体制の構築支援，地域のベビーシッターや子育てサポーター等との連携支援をお手伝いし，オーダーメイドの病児保育支援体制を構築します。

市町村ファミリーサポートとの連携支援

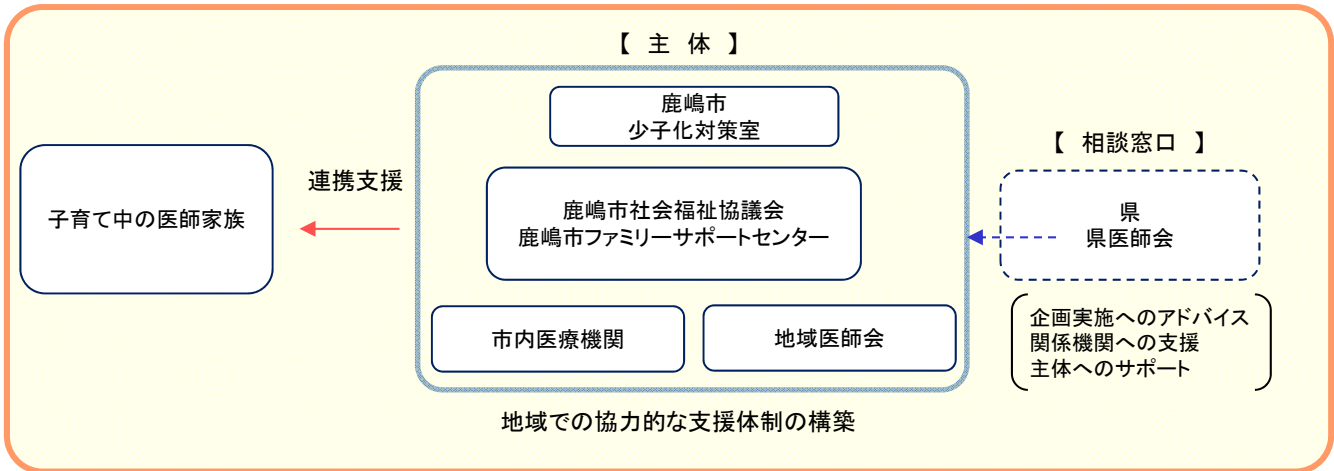
総合病院水戸協同病院 平成28年9月より実施



鹿行地域 ファミリーサポートセンター病後児保育への取り組み支援

深刻な医師不足に悩む鹿嶋市。市内在住の子育て中の医師夫妻から市へ病児保育の要望があり、ファミリーサポート事業で情報共有していた女性医師等就業支援相談窓口へ企画の相談があった。平成30年3月、平成31年度に向け、鹿嶋市少子化対策室と鹿嶋市社会福祉協議会及び鹿嶋市ファミリーサポートセンターによる、医師確保と病後児保育新規始動の取り組みと本事業が協働するための協議を開始した。

鹿嶋市が主導主体となり地元の医師会や周辺医療機関への協力要請を行いながら進めていく。初期は、要望のあった医師家族をモデルとして支援していく。当面の課題は地域サポーターの確保と教育。県と県医師会はサポーターの育成支援と多主体間の調整を行っていく予定。



茨城県医師会では「女性医師部会」の設置はありません。
茨城県医師会内の委員会として「男女共同参画委員会」を設置し、平成30年度において、下記事業を行っております。

1. 男女共同参画委員会の開催

2. 男女共同参画フォーラム

日 時:平成30年11月11日(日)午後2時～午後4時

場 所:筑波大学附属病院「けやきプラザ」

参加者:131名

(1)平成30年度高校生作文コンクール 表彰式

(2)講演

I「なぜ、医師を目指したか」筑波大学 医学群 医学類2年 福元 崇人

II「茨城でキャリア形成をする上で」筑波大学附属病院 初期研修医 諫山 瑞紀

III「茨城の医療機関で働くにあたって」

東京医科大学茨城医療センター 後期研修医 黒田 祐子

ディスカッション

特別講演(15:30)

「女性医師のキャリアを考える～茨城県からの応援メッセージ～」

茨城県保健福祉部長 木庭 愛

3. 地域における女性医師支援懇談会

日 時:平成30年10月5日(金) 15:00～16:30

場 所:日立製作所日立総合病院

内 容:育児中の勤務環境・院内保育・病児保育について 等

参加者:初期研修医を含む女性医師及び事務部等15名、男女共同参画委員会委員